

第 10 回鎌倉市総合計画審議会 議事録

- 日 時：令和7年(2025 年)7月 25 日(金)午前9時 59 分から 10 時 21 分まで
- 場 所：市役所本庁舎2階 全員協議会室
- 出席委員：高木会長、長尾委員、市川委員、大津委員、田中委員、新津委員、小島委員、小泉委員、海津委員、木村委員、亀山委員(オンライン参加)、掛川委員
- 欠席委員：波多辺委員、内田委員、村山委員
- 幹 事：共生共創部長、共生共創部次長(企画課所管)、企画課長
- 事 務 局：企画課課長補佐兼担当係長、企画課担当係長、企画課主事3名、企画課事務職員1名、政策創造課課長補佐兼担当係長
- 関連職員：なし
- 傍 聴 者：5名
- 会議次第：
- 1 議題
 - (1) 審議
 - ア 新たな鎌倉市総合計画の策定に係る答申内容について
 - (2) その他
 - (3) 鎌倉市への答申
- 配付資料
- 次第
- 新たな鎌倉市総合計画について(答申)
- 当審議会での審議経過
- 鎌倉市基本構想－鎌倉ビジョン 2034－
- 鎌倉市基本計画－鎌倉ミライ共創プラン 2030－
- 審議会委員名簿
- 令和7年6月 27 日開催の第9回鎌倉市総合計画審議会議事録(案)
- 会 議 記 録：
- 会長 ただいまから、第 10 回鎌倉市総合計画審議会を開会します。
まず、事務局から報告があります。
- 事務局 本日、現時点で 12 名の委員の方に御出席いただいていることから、鎌倉市総合計画審議会規則第3条第2項の規定により、委員会として成立していることを報告します。
続きまして、本日の資料の確認です。本日の資料は、次第、新たな鎌倉市総合計画について(答申)、当審議会での審議経過、鎌倉市基本構想「鎌倉ビジョン 2034」、鎌倉市基本計画「鎌倉ミライ共創プラン 2030」、審議会委員名簿、令和7年6月 27 日開催の第9回鎌倉市総合計画審議会議事録(案)を配付しておりますので、御確認をお願いします。
- 会長 ありがとうございます。御確認いただいてよろしいでしょうか。
(委員了承)
- 会長 続いて、本日の傍聴希望と取材申し込みについて、事務局から御説明をお願いいたします。
- 事務局 本日、5名の方から傍聴のお申出をいただいております。
傍聴者の取扱いについて、御協議をお願いします。
また、本日、朝日新聞社様から取材の申し込みをいただいております、写真撮影を行いたいとの御要望をいただいております。こちらもあわせて御協議をお願いします。
- 会長 傍聴者と取材申し込みの取扱いについて、特に問題がなければ、入室を認めようと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
(委員了承)
- 会長 ありがとうございます。確認しましたので、傍聴者と記者を入室させてください。
(傍聴者、記者入室)
- 会長 傍聴者と記者の皆様に申し上げます。会議中は静粛をお願いします。また、発言、会議

の録音・録画・撮影は認められませんので、よろしくお願いします。

続いて記者の方に申し上げます。写真撮影は構いませんが、会議の進行に支障がないよう御理解、御協力をよろしくお願いします。

会長 それでは議題に入ります。

まずは「新たな鎌倉市総合計画の策定に係る答申内容について」です。

では、事務局から御説明をお願いします。

事務局 それでは議題1でございます。「新たな鎌倉市総合計画の策定に係る答申内容について」説明いたします。

まず、答申として本日この後市長にお渡しいただく書類から確認をいたします。一つ目が本日の日付、会長名が入っております、「新たな鎌倉市総合計画について(答申)」という両面の書類でございます。この内容につきましてはこの後確認させていただきます。

その他添付資料といたしまして、まず一つ目、「当審議会での審議経過」、両面のもの、それから二つ目としまして、「鎌倉市基本構想「鎌倉ビジョン 2034」(答申)」、下に日付と審議会名を入れてございます。表紙を含めまして2枚ものです。ちょっと中をおめくりいただきたいのですが、前回の審議会でも少し説明をさせていただきましたが、これまで皆様にお示ししたもののについては、番号ですとか注釈を入れてきたのですが、今回頂戴したものを基本として、この後9月議会に提案していくところを前回御説明させていただきましたので、内容に変更はありませんが、表題番号、それから注釈等々全て除いているものとなっている点を御了解いただければと思います。

続きまして、添付の三つ目、「鎌倉市基本計画「鎌倉ミライ共創プラン 2030」(答申)」でございます。こちら中をおめくりいただきまして、内容につきましては、変更等はございませんが、先ほどの構想と同じように番号、注釈等抜いてあります。なお内容につきましては、前回の第9回審議会を追加資料としてお示ししたものですとか、一昨日メールで御連絡させていただいた内容等が反映した最終のものとなっております。

そして最後四つ目が「審議会委員名簿」ということで、委員の皆様の名簿となっております。

答申文を含めまして5つの書類を御案内いたしましたので、まず書類について確認をお願いいたします。

会長 はい。ありがとうございます。今事務局から御説明がございましたとおり、資料がございませう。この資料がそもそもあるかというところ、そしてその内容について御確認をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

(委員了承)

会長 それでは次に進んでまいります。ただいま御確認いただきましたので、続いて事務局より御説明をお願いいたします。

事務局 それでは、答申文本体の文案について最終確認をさせていただきます。1枚目の本日の日付が右上に書いてある書類を御覧いただきまして、読み上げさせていただきますので、最終確認ということでよろしくお願いいたします。

新たな鎌倉市総合計画について(答申)

令和6年(2024年)1月31日付け鎌企第936号で諮問を受けた「新たな鎌倉市総合計画について」に対し、基本構想および基本計画を別添のとおり、答申する。

市では、本計画の策定に際して当審議会の審議と並行し、こどもたちを含む多くの市民との直接対話やオンラインによる意見聴取、アンケート調査や意見公募等、さまざまな方法で十分な対応を図られてきたものと評価する。

今後、人口減少や人口構成の変化、バランスの取れていない土地利用、社会事情や国際的な課題等により、市政を取り巻く環境は大きく変化していくことが想定される。

市長におかれては、新たな総合計画(以下「新総合計画」という。)のもと、“鎌倉らしさ”を大切にしながら、将来都市像である「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現に向け、市民・企業・団体等との共創により、持続可能な都

市経営に努められたい。

なお、審議の過程において、各委員から非常に貴重な意見・提案等があったため、答申にあわせて、以下の項目について、特に意見を付する。

1. 新総合計画の推進

新総合計画に基づく施策展開に必要な個別計画は、本計画の方向性をさらに発展させるものとして策定されたい。また、本計画の策定過程で市民や当審議会等から出た意見や提案を確認し、その趣旨を尊重されたい。

そして、行政担当部署間の意思疎通を深め、本計画の考え方や目標を理解したうえで、連携して行政運営に努められたい。

2. SDGs の反映

持続可能な開発目標(SDGs)については、17 ある目標を、各施策に不足している視点を探索する「チェックツール」として用いることと整理した。これに向け、職員研修等を通じ、17 の目標がもたらす視点を職員が理解し、行政担当部署が連携して横断的な検討を行うことができる仕組みを整えられたい。

添付資料、1. 当審議会での審議経過、2. 鎌倉市基本構想「鎌倉ビジョン 2034」、3. 鎌倉市基本計画「鎌倉ミライ共創プラン 2030」、4. 審議会委員名簿、以上です。

内容の御確認をお願いいたします。

会長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの御説明について、御意見・御質疑等はいかがでしょうか。

特に前回は表現についてもかなり議論いたしましたので、今回は方向性や、どうしてもここはというようなところがあれば、御指摘を賜りたいのですが、委員の皆様いかがでしょうか。オンラインで御参加いただいている委員におかれましても、もし何かございましたら是非御意見ををお願いいたします。

(委員了承)

会長 それでは皆様に御了承いただきましたので、御確認いただいた内容で正式に「答申書」として鎌倉市に答申することによろしいでしょうか。

(委員了承)

会長 次に「その他」です。

まず、委員の皆様から何かございますでしょうか。

(意見等なし)

会長 次に、事務局から何かございますでしょうか。

事務局 議事録についてです。

議事録については、第1回の審議会にて、発言に係る委員の個人名は記載せず、“会長”“委員”“事務局”等で記載すること、発言の要約は行わないことを御確認いただきました。

なお、公開は、委員の皆様にご確認いただいた後にホームページで公開することとしております。

前回の議事録については、一度委員の皆様にご確認いただき、本日、資料として案を示させていただいております。

本日ここで御確認いただきましたら、公開したいと考えております。

また、本日の第10回鎌倉市総合計画審議会の議事録については、後日、メールにて内容確認をさせていただいた後に、公開することとさせていただきたいと考えております。

以上2点について御確認をお願いします。

会長 ありがとうございます。事務局にはかなり丁寧に議事録を作っていただきましたが、この内容等について、委員の皆様いかがでしょうか。

(委員了承)

会長 ありがとうございます。それでは、議事録については確認ができたということで、事務局

に報告いたします。

その他に何かございますでしょうか。事務局、お願いいたします。

事務局 ありがとうございます。この後、答申を頂戴いたしまして、諮問事項に対する調査、検討等は本日までとなります。

当初、委嘱させていただいた際の委員の皆様の任期を令和8年3月 31 日、今年度いっぱいとさせていただきました。計画本体は本日答申を頂戴することになりますが、この計画をどう回していくか等、報告という形で今後皆様から御意見をいただきたい事項がございます。つきましては委嘱期間を残させていただいているということもありますので、あくまで報告という形になりますが、1回ないし2回程度ですね、皆様に御報告するお時間を頂戴したいと思っておりますので、会長と調整の上、もう少しだけお付き合いいただければというふうに思います。日程等につきましては改めて御連絡させていただきますので、引き続きよろしくをお願いいたします。事務局からは以上でございます。

会長 ありがとうございます。1年半にわたって議論してまいりました委員の皆様、誠にありがとうございます。ここで一旦一区切りとなりますが、今事務局からも御説明がありましたとおり、今後進行管理についても御協力を賜れればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、市長へ答申書をお渡しする準備をいたしますので、ここからは休憩といたします。また、ここからの進行は事務局をお願いいたします。

(答申式準備のため休憩)

事務局 ただいまから、鎌倉市総合計画審議会から鎌倉市長へ答申を頂戴いたします。

それでは、高木会長から松尾市長へ答申書をお渡しいただきます。

会長 鎌倉市長 松尾 崇 様

新たな鎌倉市総合計画について、答申

令和6年1月 31 日付け鎌企第 936 号で諮問を受けた「新たな鎌倉市総合計画について」に対し、基本構想および基本計画を別添のとおり、答申いたします。

市では、本計画の策定に際して当審議会の審議と並行し、こどもたちを含む多くの市民との直接対話やオンラインによる意見聴取、アンケート調査や意見公募等、さまざまな方法で十分な対応を図られてきたものと評価する。

今後、人口減少や人口構成の変化、バランスの取れていない土地利用、社会事情や国際的な課題等により、市政を取り巻く環境は大きく変化していくことが想定される。

市長におかれては、新総合計画のもと、“鎌倉らしさ”を大切にしながら、将来都市像である「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現に向け、市民・企業・団体等との共創により、持続可能な都市経営に努められたい。

なお、審議の過程において、各委員から非常に貴重な意見・提案等があったため、答申にあわせて、以下の項目について、特に意見を付する。

1. 新総合計画の推進

2. SDGs の反映

付言の内容は省略させていただきます。

以上

令和7年7月 25 日鎌倉市総合計画審議会会長高木超

事務局 ありがとうございます。

それでは、高木会長より一言御挨拶を頂戴いたします。

会長 ありがとうございます。

この総合計画の御議論に際しましては1年半にわたり委員の皆様と議論してまいりました。そして市民参加の機会も様々得て、市民の意見を踏まえた総合計画になったと思いますので、この計画の着実な進行に向けてどうかよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、鎌倉市長松尾崇から御挨拶申し上げます。

市長 ありがとうございます。ただいま高木会長から新たな鎌倉市総合計画について、答申を

しっかりとお預かりをさせていただきました。本当にこの間、高木会長を初め委員の皆様には活発な御議論をいただきましたことをまず心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

30年ぶりの改定ということで、この鎌倉市の未来をどういう方向に持っていくかというのは、まさに答えのない取組でありますから、こうして委員の皆さんがそういう中でそれぞれに今感じているこの鎌倉の現状と、そして向かっていく方向性ということを御議論して、一つの形になっていったというところは、大変大きなものでありますし、我々はこれをしっかりと受けとめて、これからの鎌倉市の未来を市役所としても、そして市役所だけではもちろんできませんから、多くの関係者の皆さんと一緒に取り組んでいくということが肝要であるというふうに思っております。

市民対話で明らかになった本市の魅力ということも軸にしながら、この構築された基本構想の将来目標、それから基本計画、まちづくり基本方針として市民を始めとした皆様との共創のまちづくりの考えを位置づけられたこと、また将来を見据える中で、こどもたちを軸に据えて、リーディングプロジェクトの設定をしていただいたことなど、次代の鎌倉に向けて必要な計画としてこの答申をいただいたというふうにも捉えているところです。

重ねてとなりますけれども、今回お忙しい中高木会長を初め委員の皆様におかれましては、御協力を賜りましたこと御礼を申し上げまして、そして今回いただきました総合計画を、やはり市役所の組織としてしっかりと一人一人が認識をしながらこれからの市政運営に邁進できるように取り組んでまいりたいというふうに思いますので、引き続き皆様には御理解御協力をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。この度は本当にどうもありがとうございました。

事務局 以上で、市長への答申及び第10回鎌倉市総合計画審議会を終了とさせていただきます。皆様本当にありがとうございました。

以 上